

臨床化学部門

【企画趣旨】

臨床化学は、他の分野に先駆けて自動化と精度保証に積極的に取り組んできた臨床検査の分野です。その結果、今やボタン一つで迅速かつ正確な検査結果を得ることができる時代が到来しました。また、近年は POCT (Point of Care Testing) の急速な進展により、臨床化学の領域でも多くの検査項目がベッドサイドで即座に測定できるようになっています。

こうした便益の進展がある一方で、我々臨床検査技師が単にその便利さを享受するだけで良いのでしょうか。臨床検査技師としての知識や技術を積み上げてきた歴史をどのように次世代に継承し、また、進化した技術の中から何を見出すべきかという視点が求められています。臨床化学の未来に向けて、新たな展望を開くためにはどのような力が必要なのでしょうか。

本セッションでは、テーマ「未来への架け橋」を掲げ、臨床化学の分野における変化と継承に焦点を当て、シンポジストの皆様と共に議論を深めます。臨床化学の未来において、どの要素が変化し、どの要素が変わらずに残るべきなのかについて多角的な視点から探求し、次の世代への架け橋となる示唆を得る場を提供したいと考えています。